



光の子だより

令和8年7月10日
千葉市立作新小学校
校長 金谷 英 味

学校教育目標:一人一人のちがいを大切に「かしこく あたたく たくましい」子どもの育成
～ 合言葉「さ・く・しん」を通して ～

今年の梅雨は、雨や曇天、涼しい日が続く、近年にない「梅雨らしい梅雨」だと感じています。今週後半からやっと、気持ちの良い天候の下プールに入れるようになりました。

さて、先日、東京・北区の小学校で大きな火災があり、世間をびっくりさせました。私たち教職員もそのようなことが起きるなんて、と驚くばかりでした。それと同時に、火災の怖さと避難方法について改めて考えさせられました。皆様も「作新小はどうなっているのか?」「大丈夫なのか?」と心配されていることと思いますので、今回は、作新小学校の安全対策について、お伝えしたいと思います。

【避難訓練】色々な場面を想定し、複数回実施しています。

4月:避難訓練(給食室からの出火による火事を想定)

※新しい教室からの避難経路と避難場所を覚える

5月:シェイクアウト訓練①

6月:防犯訓練(不審者が侵入したことを想定して実施)

:地震による避難→保護者への引き渡し訓練

(学校や周辺地域の被害が大きいことを想定)

7月:シェイクアウト訓練②

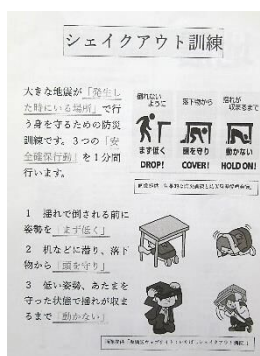
10月:シェイクアウト訓練③

11月:避難訓練(地震を想定し、子どもや担任への日時の予告なしで実施。行方不明の子どもの検索訓練も行う)

1月:シェイクアウト訓練④

助け合い避難、ありがとう

《シェイクアウト訓練とは》



休み時間など、子どもたちがバラバラに活動している時、突然、地震発生の訓練放送を流し、避難行動を5分間とります。校庭で遊んでいる子は校庭の中央に集まってしゃがみます。高学年が下学年を誘導してくれるようになっています。

【防火・避難設備】



各階段、各階にある防火シャッター

シャッターの横にある避難用防火扉



三階のベランダに設置されている救助袋

1棟と2棟の3階に一つ設置されている。実際に使用しての訓練は推奨されていない為、未実施。



年に2回、業者による点検を受けている。

このほかにも、毎月、校舎内外の「安全点検」を実施しています。今回の東京の火事を教訓に、待機電力がかかっている状態のままの電源は無い、トラッキング現象が起きそうなコンセントは無い、避難用防火扉の近辺に物が置いたままになっていないか再確認しました。これからも子どもたちの心身の安全が守れるよう努めてまいります。

間もなく長い夏休みに入ります。子どもの生活が学校中心から、家庭、地域中心となります。子どもたちにとって、有意義な夏休みとなりますよう、ご支援くださいますようお願いいたします。

【救命救急研修】

毎年、水泳指導が始まる前に消防署の方に来ていただき、教職員全員で AED の使用方法、心臓マッサージ等の救命について実技研修を行っています。



★セーフティウォッチャーの皆様、暑い中、いつもありがとうございます。熱中症には、どうぞお気を付けください。